

2025 年度診断用 X 線装置アンケート調査

1. 研究の対象

全国の国公立大学附属病院、各地域の基幹病院などベッド数 300 床以上の施設（約 600 施設）の放射線科（部）に対し、調査及び回答を依頼する予定です。

2. 研究目的・方法

われわれは X 線装置および撮影条件の現状を把握する目的で、1974 年に 1 回目のアンケート調査を行い、日本放射線技術学会撮影系実態調査班との共同調査を含め、5 年ごとに 10 回の調査を実施してきました。診断用 X 線装置の進歩は著しいものがあり、過去の調査で X 線高電圧装置はインバータ式高電圧装置に、受像系はデジタルシステムに移行した推移を日本放射線技術学会誌に報告しました。継続的にアンケート調査を行い記録に留めることは、資料として放射線技術学上重要と考えます。アンケートの項目は現状に合わせ追加、削除を行い、今回は装置管理をより詳細に調査内容としました。

今回の研究の目的は、全国の国公立大学病院を始めとする特定機能病院や地域医療を担う基幹病院に対してアンケート調査を行い診断用 X 線装置の推移を調査記録することです。

研究対象施設は全国の国公立大学附属病院及び各地域の基幹病院などを含むベッド数 300 床以上の施設（約 600 施設）になります。

方法は全国の国公立大学附属病院、各地域の基幹病院などベッド数 300 床以上の施設（約 600 施設）に対し、X 線高電圧装置の種類・X 線高電圧装置の定格出力・X 線管装置の熱容量及び陽極角度・受像系システムの種類・保守点検・装置管理用測定器具などについて調査を行います。

研究期間：承認日～西暦 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

アンケート調査による横断的研究とし、個人情報のないデータとなります。

4. 外部への試料・情報の提供

研究責任者は、定められた保管方法に従って研究担当者が情報等を正確なものにするよう指導し、情報等の漏えい、混交、盗難、紛失等が起こらないよう必要な管理を行います。

本研究で得られた情報等は、放射線診断科技師室内の特定の場所で施錠した状態で保管し、パスワードでアクセス制限を付加した専用の USB メモリ に保存します。

研究責任者は、研究に用いられる情報等については、可能な限り長期間保管し、少なくとも、研究の終了について報告された日から 1 年が経過した日までの期間、適切に保管します。また、匿名化された情報について、本院が対応表を保有する場合には、対応表の保管についても同様とします。その他の資料においては、研究実施計画書に定められた期間、適切に保管されるよう必要な監督を行います。

廃棄する際は、匿名化し個人情報に注意し、デジタル情報を読み取り不能状態として削除いたします。

本研究の成果を日本放射線技術学会学術大会で発表し、さらに日本放射線技術学会誌への論文投稿することにより公表します。

5. 研究組織

川崎市立井田病院 三宅 博之
東京都立大学大学院 根岸 徹
帝京大学大学院 齋藤 祐樹
三井住友銀行大手町健康開発センター 宮藺 忠文
小田原循環器病院 今井 宣雄
横浜市立市民病院 落合 幸一郎
NTT 東日本関東病院 矢島 圭祐
NTT 東日本関東病院 中村 浩章
川崎市立井田病院 丸山 礼佳

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

神奈川県川崎市中原区井田 2-27-1

044-766-2188（内線：4212）

放射線診断科 三宅博之（研究責任者）

研究責任者：

川崎市立井田病院放射線診断科 三宅 博之

研究代表者：

川崎市立井田病院放射線診断科 三宅 博之